

Discovery



The 45th Ship for Southeast Asian and Japanese Youth Program

平成 30 年度内閣府青年国際交流事業

第 45 回「東南アジア青年の船」

事業報告会

日時：2月24日(日) 13:00-16:30

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

国際交流棟 1 階 国際会議室

主催：内閣府

(一財) 青少年国際交流推進センター

日本青年国際交流機構 (IYEO)



The 45th Ship for Southeast Asian and Japanese Youth Program

目次

はじめに	P1 - ご挨拶 P2 - 事業概要	訪問国活動	P17 - 表敬訪問、歓迎レセプション P18 - 課題別視察 P19 - ホームステイ
日本国内活動	P4 - 地方プログラム P5 - 東京プログラム	事業参加にあたって	P21 - 応募～乗船～事後活動の流れ P22 - 日本参加青年の声
船内活動	P7 - 活動日程 P8 - ディスカッション活動 P10 - ソリダリティー・グループ活動 P11 - PY セミナー P12 - ナショナル・プレゼンテーション P13 - 自主活動 P14 - 船内での生活	おわりに	P24 - おわりに P25 - パネルディスカッション 特別寄稿

プログラム

13:00-13:15	オープニング	
13:15-13:25	アイスブレイク	この事業の参加国、ASEAN の国々と日本について、クイズ形式で確認してみましょう！新たな発見はあるでしょうか？
13:25-13:35	SSEAYP とは	SSEAYP とは何か、この事業について参加青年から説明します。
13:35-13:45	SSEAYP Movie	52 日間の航海をまとめた事業紹介の動画をご覧ください。
13:45-13:55	平成 31 年度 内閣府青年国際交流事業募集説明	内閣府による説明を行います。
13:55-14:10	休憩	
14:10-15:00	パネルディスカッション	参加青年が本事業へ参加した理由、事業を通して心が震えた瞬間及び自分自身の成長や発見、今後の展望についてお話しします。
15:00-15:20	事後活動の紹介	第 45 回参加青年が取り組んでいる事後活動について紹介します。
15:20-16:20	なんでも相談会	参加青年から直接話を聞くことができます。選考や事業中のこと、今後の展望など、皆さんからの質問にお答えします。
16:20-16:30	クロージング	

今回の事業発表会のテーマは

Discovery

心が震えた
見えなかったものが見えた
世界が変わった

52 日間の船旅を通して、
何に「出会い」
何を「発見」し
何を「感じた」のか



参加青年の

Discovery を追いながら、
あなたもあなた自身の Discovery を
探してみませんか？

ご挨拶



原田誠也

事業報告会実行委員長



ご来場の皆様、本日は第45回「東南アジア青年の船」事業報告会へ足をお運び頂きありがとうございます。本報告会のテーマは「Discovery 心が震えた。見えなかったものが見えた。世界が変わった。」です。昨年秋、私たちは期待と不安の双方を胸に晴海埠頭を出発しました。52日間の航海は、私たちに出会い、別れ、友情、発見等、多くのことをもたらしました。もちろん、うまくいかないこともたくさんありましたが、この日々は私たち参加青年全員の世界を変えたのです。この事業を通じて私たちの意識が変わったことで、今まで見えていなかったものが見えるようになったのです。この旅の経験は私たちに”何かをしよう”という活力をもたらしました。

本報告会では、この事業における学び、困難、発見、成功等、私たちのリアルをお伝えしたいと日本参加青年一同意気込んでおります。本日の報告会が皆様にとって有意義な時間となるよう、準備を重ねてきました。

最後になりますが、第45回「東南アジア青年の船」事業に携わってくださった全ての方々に心より感謝を申し上げます。



小林章子

ナショナル・リーダー



第45回「東南アジア青年の船」事業が終了し2か月余りが経ちました。この事業は出会いから始まり別れで終わる、ASEAN 諸国10か国と日本の青年314名による、52日間の物語です。それはこれまで経験した事のない喜び、悲しみ、困難及び感動にあふれ、その一章、一章を彼らはいつでも鮮明に思い起こせることでしょう。日本参加青年は日本社会から離れ、多様な国籍、言葉、宗教、習慣をもつ仲間と生活を共にし、時にぶつかり合い悩みながら異なる価値観を受入れ、時には仲間に刺激されリーダーシップを発揮するなど大きな成長を遂げました。

本日の報告会テーマは「Discovery 心が震えた。見えなかったものが見えた。世界が変わった。」です。多くの参加青年が、事業での経験や出会いを通じ、自分たちの意識が変わったことで視野やものの見方が変わり、多くの「発見」をしたと感じました。私自身、今から20年前の1999年に参加青年として参加しましたが、「新たな自分の発見」が何事にも代えがたい貴重な体験であり、これこそが本事業参加の醍醐味であると感じます。事業で培った自主性、責任感、行動力を発揮しながら、今後、参加青年それぞれの使命ある人生への新たな旅立ちに期待します。

最後に、本事業に携わった全ての方々に心から感謝を申し上げます。

事業概要

経緯・目的

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国の間の共同事業として発足し、その後、毎年実施され、今回で45回目を迎える。この事業には、現在、ASEAN10か国と日本が参加しており、船内及び訪問国において各種の交流活動を行うことにより、日本及び東南アジア諸国の青年相互の友好と理解の促進、青年の国際的視野の拡大、国際協調精神の醸成及び国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青少年健全育成活動に参加青年が寄与すること等を目的としている。

事業内容

船内活動：ディスカッション活動、各国紹介（ナショナル・プレゼンテーション）、グループ活動など
訪問国活動：表敬訪問、ホームステイ、施設見学、訪問国青年との交流活動など

参加国

ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国及び日本

構成

管理官1名、副管理官1名、管理部員28名、ファシリテーター8名、ナショナル・リーダー11名、日本参加青年37名、海外青年277名

航路及び訪問国

事前研修	※日本参加青年のみ	8月4日	—	8月9日
出航前研修	※日本参加青年のみ	10月20日	—	10月23日
海外青年来日		10月23日		
参集式、歓迎レセプション		10月24日		
日本国内活動		10月24日	—	11月1日
出航		11月2日		
ブルネイ（ムアラ）		11月10日	—	11月13日
フィリピン（マニラ）		11月17日	—	11月20日
フィリピン（ダバオ） ※代表団が航空機で訪問		11月18日	—	11月19日
タイ（バンコク）		11月24日	—	11月27日
ベトナム（ホーチミン市）		12月2日	—	2月5日
帰港		12月12日		
海外青年帰国		12月13日		
帰国後研修	※日本参加青年のみ	12月13日	—	12月14日

